

公益信託世田谷まちづくりファンド

第25回助成事業 審査講評

まちづくり活動部門

【2回目応募グループ】

< 3-1 ミュージック&ネイチャー >

- ・ 昨年の活動報告から、イベントの参加者に大きな感動を届けられたことがわかりました。その誠実な活動に心から敬意を表します。
活動を続けていると多様な人に出会い、知り合いが増えます。地域の中のつながりの希薄化が問題提起されてから、ずいぶんと経ちます。かかわり方は違っても、活動をきっかけにいろいろな人たちが集まって、あらたにつながりを形成していくプロセスは、まちづくりの大きな要素です。みなさんがひらくコンサートやワークショップの参加者との出会いは、とても貴重です。今後は一歩踏み込んで、活動を通じて出会った人びとのかかわりが継続し、つながりに発展するような方向を試みてほしいと思います。そしてまた、暮らしにくさを抱える人に対しても、みなさんの活動が役立つ可能性はたくさんあると思います。ぜひ、具体的な課題を見つけて、みなさんのこころざしや経験をいかしてほしいと思います。
- ・ すでに定評のあるモンタナさんのリズム音楽療法をベースとした活動ですね。凸凹キッズさんをはじめファンド仲間との連携がさらに広がり、会員やボランティアの方々がさらに増えるような活動を期待しています。
- ・ 音楽の持つ魅力、共感し様々な立場の方々に楽しみ、癒しを届ける地域活動は素晴らしい。定期的に継続した取組みで、地域に定着した基盤づくりができるのはと感じます。生きいきガイドブックの使い方は良く分かりませんでした。活動の輪を広げるPR活動等を期待しています。

< 3 - 2 紙風景 >

- ・着実に区内の連携先を増やしていて、素晴らしいと思いました。次第に、紙風景を通じて区内の拠点がつながっていくように存在感がシフトしていきそうです。今年も、参加者が地域と人に出会う良い時間をたくさんつくってください。期待しています。
- ・こどもの、世田谷にある風景やまちへの気づきをもたらす点でとても有意義な活動であり、まちづくり活動を通じて区民が創り出した風景を舞台に今年度の活動を実施しようとしている点には奥深さを感じました。紙風景新聞の構成やコンテンツも読みやすさに配慮されており、親近感を感じられるものだと思います。準備作業が大変だと思われますので、課題としてもあげられていたように、仲間づくりには特に力を入れて活動を展開させていってください。
- ・活動実績があり、この間の取組は評価していますが、運営メンバーを増やし、他の団体や活動との連携で継続した一段の取組を期待しています。

< 3 - 3 世田谷楽しいコミュニケーショングループ >

- ・インプロ活動はまだまだ知名度が高いとは言えず、すぐにその良さや効果が伝わるものではないかもしれませんが、自分たちがその良さを実感しているからこそ伝えていけることがあると思います。活動は絞り込まなくてはならないかもしれませんが、まずはインプロを知ってもらうこと、賛同者を増やしていくことを行い、「インプロもっと広げたいね、祭りやりたいね！」という流れが自然に起きるよう、熱量をもって活動を重ねてください。
- ・インプロとは何かをわかりやすく伝える DVD の制作をされるということで、理解者や参加者の増加につながることを期待しています。
- ・人との関わりが希薄になった時代状況下において、コミュニケーション技術を学ぶことの意義はあると考えますし、活動回数を重ねてこられたことには敬意を表します。今年は「インプロ祭り」の準備を兼ねた期間になるとのことですが、「祭り」という言葉から想起される規模感での開催を目指すには、普段の教室やイベントにおいても、より多

くの参加者・賛同者を集める必要があるのではないのでしょうか。貴グループが蓄積されてきたノウハウを、活動 PR の部分に活かしていただきたく存じます。

< 3 - 4 学習支援ボランティア 桜んぼ塾 >

- ・ 今までの活動は素晴らしい。継続していくための課題を感じていると思いますが、その手段としての NPO 法人設立は適切でしょうか？ ひょっとしたら、今の学生数を前提として、受け入れ数を限定するのも、妥当な方向性だと思います。自分たちで全てを抱え込んでしまうのではなく、皆さんの取り組みが他の大学にも広がれば、そちらの方が多くの子供たちを救えるかもしれない。そのために皆さんがすべきことは、自分たちのノウハウを形式化し、それを誰でも活用できる状態を作り、また他の大学生が、皆さんの方法を学べる機会を作っていくなど、どのように他を巻き込んでいくかを考えてみてください。そのために、NPO 法人が必要、となれば目的も明確ですし、様々なサポートも受けられると思います。
- ・ 発表を聞いてとても感銘しました。子供の貧困が社会問題になっているなか、学生が学習支援、居場所支援、食事支援を継続して活動していることはとても素晴らしいので今後も続けて頂きたい。助成金がなくなっても活動を継続するために支援の場を広げる必要があるので、今年度は特に広報に力を入れてください。皆さんの活動を知ることによって応援する方が増えると思います。学生による子供の支援という例は少ないと思うのでモデルケースになるように頑張ってください。
- ・ 現在世界的な問題となっている「格差社会」。貧困の連鎖を断ち切るもっとも有効な手段が教育の平等だと考えられます。長年それに取組んできた貴会の活動は誠に素晴らしいと思います。ただ学生の活動のいちばんの懸念が次世代への引継ぎがきちんとできるか？活動が永続的にできるのか？になります。もう 10 年以上続けられてる活動ですので、その経験や理念、ノウハウなどをハンドブック的な物にまとめれば次世代への引継ぎの一助になりますし、それを基に他大学でも同じ活動をしてもらえば、より多数の子どもの援助につながると考えます。ご一考ください。

< 3 - 5 特定非営利活動法人 カプラー >

- ・ WASSON のワークショップによって解決したい課題（スマホを見続けながら電車に乗る）に対して、WASSON は、確かに効果はあるのだと思いますが、果たして、どれだけの方が WASSON を体験すれば、それを私たちは実感できるのか？ スマホを見続けながら電車には乗らない、という社会はどのように確認できるのか？ 理念の実現のために、具体的にどのようなステップを踏んでいくのかを検討いただきたいと思います。
- ・ 和をテーマにした体験交流型のワークショップの展開について、昨年度の実績をさらに発展させていただければ。今年度は、将来の自立に向け、会場提供者の確保などの支援者の拡大にも取り組んでいただくとよいかと思えます。
- ・ 活動内容としてワークショップを 5 回に増としていますが、他の活動団体との連携や参加の呼びかけなど、更なる活動の展開を期待します。運営経費はファンド以外に、賛同者や参加費で賄うなど、活動の継続に努力していただきたい。

< 3 - 6 おひるのかほり >

- ・ 子育て中という生活の環境に向き合い、しかも大事にしてきたことへのこだわりは持ち続ける、その自然体の活動に共感しました。活動が徐々に大きくなっていくと、スタッフの増員や、まちづくりファンドに代わる資金づくり、役割の細分化、それぞれのスキルアップなど、活動を持続させるための活動や、組織の基盤づくりの必要が出てきます。メンバー同士がいつでも風通しよく、意思疎通がはかれていること、これは活動のどの段階においても基本になるはずですが、手間はかかりますが、メンバー間で丁寧な話し合いを繰り返すこと、目標を共有することをおこたらないことを、ぜひ、心がけてほしいと思えます。
- ・ 世田谷区の中でも子どもの数が少ない下北沢から新しい子育てカルチャーを発信するバイタリティと豊かなアイデア、目利きは素晴らしいと思えます。また、もともと音楽や舞台が好きだったけれど出産を機に離れてしまった母も沢山いると思えます。アートやカルチャーが夜のものでなく、お昼に子どもと楽しめることで、子育てもまた楽しく

なっていくのではないのでしょうか。多様なカルチャーが存在する下北沢だからこそできる、みんながワクワクして、元気になるような取り組みに大いに期待します。皆さんが軽やかに楽しむ姿は多くの共感を集めると思います。

- ・音楽好きの子育て層のニーズをしっかりと捉えて育ててきた企画ですが、ミュージシャンをブッキングできるセンスとネットワークが強みだとわかったということは、非常に大きいと考えます。その強みを活かして、さらに他団体や地域の中で「おひるのかほり」らしい役割を果たしてください。ぜひ来年以降も継続していただけることを期待しています。

< 3 - 7 NPO 法人かぞくの杜 >

- ・開設から3年目となり、今までの活動からの蓄積や関係性をベースに、地域連携を活動の中心にすえた取り組みは本ファンドの目指す方向とも合致しています。ぜひそれぞれの資源や強み、専門性を持ち寄り、お互いの活動に相乗効果が生まれるような広がり意識して活動をしてください。地域の交流拠点からおいしくて楽しい時間が地域に広がることを期待しています。
- ・応募内容から、着実に活動が充実している印象を受けました。前のお宅の畑を借りて農作業を展開したり、お御輿と連携したり、地域とのつながりを広げられているのはとても大事な事だと思います。地域の中に認知される場として広がっていくといいですね。
- ・子育て中の世帯が増加している地域で、子育て支援や親子の交流の場を作るという活動趣旨に大きく賛同します。一方、応募用紙を拝見しプレゼンを拝聴した限り、現在はまだ組織体制や通常の事業内容を、試行錯誤しながら整備している途上にある印象を受けました。貴グループが協力を仰いでいる、せたがや子育てネットさんという、世田谷の子育て環境の向上に尽力してこられた優れた先輩からも多くのことを吸収していただければ幸いです。今年度の活動を通じて地域内での認知度が向上することを期待しています。

< 3-9 エコロジカル・デモクラシー財団 >

- ・世田谷七沢八幡と言われているように世田谷区は川の多い街です。私の生まれ育った地域にも今は暗渠になっている小川が数多くありました。自分の故郷、住んでいる所は誰にとっても大切な場所です。そこをキーワードにして街づくり活動の交流を活性化させる発想に興味を惹かれました。ただ、普及活動が進んでいないので今年度は世田谷ファンドの全グループ、多摩川流域の他市区町村と交流出来るように活動を推進して頂きたい。来年の活動報告会を期待しております。
- ・ファンド助成グループ間のネットワークづくりを活動の軸に据えており、近年のファンド助成対象企画としては稀少かつ、重大な意義をもっていると考えます。今年度の活動は、ファンドグループが集まる交流イベントへの参加や、他グループへの訪問が中心のようですが、近い将来、貴グループが音頭をとって、沢山の世田谷の活動グループが集いエコデモをテーマに対話し、お互いに繋がり合うような、市民の市民による市民のための場が形づくられることを期待しています。
- ・川という視点から市民活動、社会生態系を観察するというユニークな発想がとても面白いです。ファンド助成団体に丹念なアンケート調査を実施されているようですが、その結果をウェブなどで公開していただけないでしょうか？それがあれば、自分たちはこういう活動をしている団体と連携したいという検索のツールとなり、団体間の交流も活発になると考えられます。また貴会が団体同士を結び付けるアドバイザー的な役割も担えるのではないのでしょうか？市民の深い連帯が真のデモクラティック市民社会を形成できると考えます。貴会の活動に期待します。

< 3-10 暮らしの中で和を楽しむ会、柏葉会 >

- ・昨年の活動報告から、丁寧に、そして楽しみながら活動していらっしゃる事がよくわかりました。ぜひ、息の長い活動にしていってください。
- 活動を続けていると多様な人に出会い、知り合いが増えます。地域の中のつながりの希薄化が指摘されてから、ずいぶんと経ちます。かかわり方は違っても、活動をきっかけにいろいろな人たちが集まって、あらたにつながりを形成していくプロセスは、まちづくりの大事な要素です。

みなさんが伝えたい「和を楽しむ心」には、今の時代、共感する人も多いと思います。今後は一步踏み込んで、活動を通じて出会った人びとのかかわりが継続し、ひとつのコミュニティに発展するような方向を試みてほしいと思います。そしてまた、暮らしにくさを抱える人に対しても、みなさんの活動が役立つ可能性はたくさんあると思います。ぜひ、具体的な課題を見つけて、みなさんのころざしや経験をいかしてほしいと思います。

- ・歴史的な建造物で、日本の伝統文化を体験していただく素敵な活動ですね。継続して実施できるように、参加者や活動を支援していただける方がさらに広がるような取り組みを意識していただけるといいかと思います。
- ・サークル活動に留まらず、様々な世代による参加者を増やし、他の団体との連携をさらに図り、地域資源を活用した取組を期待しています。

< 3-11 ウルトラキッズ応援団 >

- ・子どもが自己責任で自由に遊ぶという当たり前のことが当たり前でなくなりつつある現代、プレーパークの存在は改めて今の時代の子育てをみんなで考えるととても重要なものとなると思います。制限を受けないという「～の自由」ではなく、やりたいことを「する自由」を多くの子供たちに届け、それを見守る大人を地域の中に沢山増やしていただくためにも、ぜひ今までの支援の輪を越える、多様な人を巻き込む場づくりを行ってください。
- ・祖師谷公園での活動は大きな発展につながりそうです。今年はチャレンジを重ねる年だと思います。積極的な活動を期待します。オープンな組織にしていくことが課題になるかもしれません。祖師谷は多くの地域資源があると思いますので、いろいろなネットワークが次への展開のきっかけになるはずです。
- ・活動の趣旨には全面的に賛同しますし、応援したいです。安全面への配慮や周辺地域の理解の獲得など、ご苦勞も多いと思われませんが、冒険遊び場の根本的理念と活動を往復し、先例に多くのことを学びながら、定期的な開催によって認知・理解度を向上させ、訪れる子どもた

ちや賛同者を一人でも多く増やして、安定的に運営ができるようになることを期待しています。今年度が飛躍の年になりますように。